



2021年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月11日

上場会社名 加藤産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 9869 URL <http://www.katosangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 和弥

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 次家 成典

TEL 0798-33-7650

四半期報告書提出予定日 2021年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	846,087	2.1	8,882	0.0	10,323	0.3	6,567	1.4
2020年9月期第3四半期	828,643	4.5	8,881	8.0	10,293	6.5	6,658	22.5

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 7,461百万円 (0.7%) 2020年9月期第3四半期 7,408百万円 (882.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	185.78	
2020年9月期第3四半期	186.77	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	373,042	131,563	33.9
2020年9月期	368,676	129,563	33.8

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 126,426百万円 2020年9月期 124,697百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		33.00		33.00	66.00
2021年9月期		36.00			
2021年9月期(予想)				36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,130,000	2.3	11,100	4.1	12,600	4.6	8,200	9.4	233.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2021年2月12日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。なお、当該自己株式の取得については、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期3Q	38,153,115 株	2020年9月期	38,153,115 株
期末自己株式数	2021年9月期3Q	3,503,187 株	2020年9月期	2,503,129 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期3Q	35,349,962 株	2020年9月期3Q	35,650,159 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの感染防止対策に加え、国内でのワクチン接種の浸透により社会経済活動の正常化に向けた動きが進み、海外経済の改善等も寄与して景況感是一部において好転しているものの、感染が再拡大したことで引き続き先行きが見通せない状況となりました。

食品流通業界におきましては、日常の生活関連消費については消費者の節約志向が根強く、生活防衛意識の高まりが続いております。また、消費者の食生活や購買行動の多様化が進み、小売業の業種・業態を超えた競争が激しくなっております。さらに、新型コロナウイルスの影響により消費者の生活スタイルが大きく変化し、家庭内消費に関連する需要は堅調である一方、酒類を中心とした外食関連の需要については低迷が続いております。

このような状況に対して当社グループは、グループミッションである『豊かな食生活を提供して人々の幸せを実現すること』を目指して、デジタル技術も活用しながら、取引先との取組み強化、働き方の改革及び生産性の向上に取り組んでまいりました。そして、新型コロナウイルス感染拡大の中でも、食のインフラを担う食品卸売業として仕入先や得意先、物流関連などの取引先と連携し、食品の安定供給という社会的使命を果たしてまいりました。

海外事業におきましては、今後の当社グループの成長戦略の一つとして位置づけ、マレーシア・シンガポール・ベトナム・中国国内での食品卸売事業の展開を図っており、日本を含めたアジア地域における食品流通事業の強化を進めてまいりました。そして、2020年10月にはマレーシア半島部中南部を営業地域とするMerison (M) Sdn. Bhd.の株式を取得して連結子会社とし、これにより当社グループはマレーシア半島部全域を営業地域とする同国最大級の卸売業グループとなりました。加えて、2021年7月にはベトナム南部を営業地域とするSong Ma Retail Joint Stock Companyの株式を取得して連結子会社とし、ベトナムにおいても既存事業のさらなる拡大を図ってまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期に比べて2.1%増加して8,460億87百万円となり、営業利益は前年同四半期並みの88億82百万円（前年同四半期比0.0%増）、経常利益は103億23百万円（前年同四半期比0.3%増）となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は1.4%減少して65億67百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

<常温流通事業>

当社グループの主力事業であります常温流通事業につきましては、新型コロナウイルスの影響により家庭内消費に関連する需要は堅調であるものの、日常の生活関連消費においては節約志向の強さが続いており、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況に対して、価格だけに頼らない価値の提供に取り組むために提案型営業をさらに推進し、仕入先との取組み強化及び得意先との関係強化を図るとともに、自社ブランド商品の開発・販売においてもブランド価値・商品価値の訴求を進めてまいりました。加えて、デジタル技術も活用しながら業務の生産性向上に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は5,826億29百万円（前年同四半期比1.5%増）となり、営業利益は75億7百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。

<低温流通事業>

低温流通事業につきましては、新型コロナウイルスの影響により、内食需要の高まりが継続していることで家庭内消費に関連する商材は堅調であるものの、外食関連の需要は依然として低迷した状況が続いており、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況に対して、新規取引による売上拡大及び利益改善に努めるとともに、業務の効率化や生産性向上によるコスト抑制に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は806億52百万円（前年同四半期比4.0%増）となり、営業利益は1億55百万円（前年同四半期は営業損失1億56百万円）となりました。

<酒類流通事業>

酒類流通事業につきましては、消費者の低価格志向が続いている一方で、価格と価値が伴った商品や健康志向に対応した機能性商品への需要の拡大が見られ、消費の二極化が一層鮮明になっております。また、飲酒人口の減少や若年層のアルコール離れ、加えて新型コロナウイルスの影響により家庭内消費は増加しているものの、外食を中心とした飲酒機会の減少によって酒類市場は縮小傾向が続いております。加えて、物流を中心としたコスト負担も大きく、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況に対して、主要取引先との取組み強化及び自販力・提案型営業の強化を進めるとともに、商品毎の利益管理を徹底し、さらに業務の効率化や生産性の向上を図ることでローコストオペレーションに取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は既存得意先との取引拡大があったものの1,428億41百万円（前年同四半期比0.2%減）となり、外食需要の大幅な減少による収益低下の影響が大きく営業利益は1億68百万円（前年同四半期比60.0%減）となりました。

<海外事業>

海外事業につきましては、マレーシア・シンガポール・ベトナム・中国国内での食品卸売事業の展開を図っており、既存の海外卸売業としてのベースに加え、日本国内で培ってきた営業力の浸透及び経営管理の定着を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は2020年10月に株式を取得したMerison (M) Sdn. Bhd. の連結化により351億22百万円（前年同四半期比20.2%増）となりましたが、営業利益はのれんの償却負担の減少があるものの、新型コロナウイルスの影響でインバウンド需要が大幅に減少したこと等により1億38百万円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

<その他>

その他の事業につきましては、物流関連事業がその主な内容であり、売上高は外食関連需要の減少等により101億65百万円（前年同四半期比0.4%減）となり、営業利益は8億81百万円（前年同四半期比10.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて43億65百万円増加し3,730億42百万円となりました。

流動資産は、主に売上債権及びたな卸資産が増加した一方で、現金及び預金が減少したことから、11億94百万円減少し2,479億47百万円となりました。また固定資産は、有形固定資産の取得及び投資有価証券の時価評価額の上昇等により増加したことから、55億59百万円増加し1,250億94百万円となりました。

流動負債は、主に仕入債務及び短期借入金が増加したことから、23億64百万円増加し2,166億19百万円となり、固定負債は、リース債務が減少した一方で、投資有価証券の時価評価額の上昇等による繰延税金負債及び長期借入金が増加したことから、1百万円増加し248億59百万円となりました。

純資産は、19億99百万円増加し1,315億63百万円となり、その結果、自己資本比率は33.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月13日の「2020年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	84,250	80,686
受取手形及び売掛金	130,489	133,564
リース投資資産	656	660
有価証券	1,004	—
商品及び製品	24,393	25,183
仕掛品	3	6
原材料及び貯蔵品	288	267
その他	8,719	8,258
貸倒引当金	△664	△679
流動資産合計	249,141	247,947
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,184	17,517
機械装置及び運搬具(純額)	2,327	2,232
工具、器具及び備品(純額)	838	1,151
土地	23,994	24,374
リース資産(純額)	1,653	1,456
建設仮勘定	1,212	740
その他(純額)	415	384
有形固定資産合計	43,624	47,857
無形固定資産		
のれん	705	758
ソフトウェア	4,925	5,412
電話加入権	45	45
その他	107	194
無形固定資産合計	5,784	6,410
投資その他の資産		
投資有価証券	43,820	45,614
差入保証金	5,972	5,772
投資不動産(純額)	3,191	2,954
繰延税金資産	250	268
退職給付に係る資産	1,904	2,075
リース投資資産	9,739	9,243
その他	5,358	5,005
貸倒引当金	△110	△108
投資その他の資産合計	70,125	70,826
固定資産合計	119,534	125,094
資産合計	368,676	373,042

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	196,160	198,372
短期借入金	1,257	3,232
1年内返済予定の長期借入金	17	29
リース債務	1,329	1,358
未払金	9,899	10,087
未払費用	381	307
未払法人税等	2,611	859
未払消費税等	211	211
賞与引当金	1,265	735
役員賞与引当金	60	46
その他	1,059	1,378
流動負債合計	214,255	216,619
固定負債		
長期借入金	—	144
リース債務	11,129	10,417
繰延税金負債	5,292	5,810
役員退職慰労引当金	367	371
退職給付に係る負債	5,344	5,340
資産除去債務	172	171
その他	2,551	2,604
固定負債合計	24,857	24,859
負債合計	239,112	241,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,760	8,760
利益剰余金	101,745	105,853
自己株式	△6,550	△9,702
株主資本合計	109,890	110,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,344	15,624
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	△841	△270
退職給付に係る調整累計額	302	226
その他の包括利益累計額合計	14,807	15,580
非支配株主持分	4,866	5,137
純資産合計	129,563	131,563
負債純資産合計	368,676	373,042

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	828,643	846,087
売上原価	773,604	790,870
売上総利益	55,038	55,216
販売費及び一般管理費	46,157	46,333
営業利益	8,881	8,882
営業外収益		
受取利息	168	128
受取配当金	771	804
持分法による投資利益	41	29
為替差益	12	39
不動産賃貸料	262	263
貸倒引当金戻入額	0	—
売電収入	90	90
その他	344	381
営業外収益合計	1,691	1,737
営業外費用		
支払利息	88	75
不動産賃貸費用	119	117
貸倒引当金繰入額	—	23
売電費用	44	40
その他	25	40
営業外費用合計	278	296
経常利益	10,293	10,323
特別利益		
固定資産売却益	14	19
投資有価証券売却益	13	0
受取保険金	7	—
特別利益合計	36	19
特別損失		
固定資産除売却損	33	27
災害による損失	72	—
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	184	180
リース解約損	0	6
特別損失合計	291	215
税金等調整前四半期純利益	10,038	10,127
法人税、住民税及び事業税	2,970	2,954
法人税等調整額	220	411
法人税等合計	3,191	3,366
四半期純利益	6,847	6,760
非支配株主に帰属する四半期純利益	189	193
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,658	6,567

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	6,847	6,760
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	926	153
繰延ヘッジ損益	3	△1
為替換算調整勘定	△310	613
退職給付に係る調整額	△32	△75
持分法適用会社に対する持分相当額	△25	10
その他の包括利益合計	561	700
四半期包括利益	7,408	7,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,161	7,341
非支配株主に係る四半期包括利益	247	120

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年2月12日開催の取締役会において決議した自己株式の公開買付けに基づき、2021年4月6日付で1,000,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が3,152百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が9,702百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	海外事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	573,371	77,354	143,108	29,213	823,047	5,596	828,643	—	828,643
セグメント間の内部 売上高又は振替高	448	222	20	—	691	4,611	5,303	△5,303	—
計	573,819	77,577	143,128	29,213	823,739	10,207	833,946	△5,303	828,643
セグメント利益又は 損失(△)	7,466	△156	421	145	7,875	985	8,861	19	8,881

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額19百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	常温流通 事業	低温流通 事業	酒類流通 事業	海外事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	582,294	80,439	142,820	35,122	840,677	5,409	846,087	—	846,087
セグメント間の内部 売上高又は振替高	335	212	20	—	567	4,756	5,323	△5,323	—
計	582,629	80,652	142,841	35,122	841,245	10,165	851,410	△5,323	846,087
セグメント利益	7,507	155	168	138	7,969	881	8,851	31	8,882

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に物流事業であります。

2 セグメント利益の調整額31百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。